

景気動向調査結果

(平成29年1月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うち面接 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業））を対象に、平成 29 年 1 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、平成 29 年 2 月に面接又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業・卸売業、飲食業・宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更しています。

回答企業数は、443 社（製造業 238 社（うち面接 65 社）、非製造業 205 社）で、回答率は 63.3 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2918）

非製造業について

長野県産業労働部産業立地・経営支援課（TEL 026-232-0111 内線 2959）

平成29年1月の景気動向

1 総論

長野県経済は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しています。

製造業では、7期連続のマイナス水準となったものの、前回調査と比較して、設備投資が増加したほか、円安進行に伴う輸出環境の改善等により、一般機械、電機・電子、自動車部品を中心に受注、生産が回復し、全体として20.0ポイント改善しました。

非製造業では、前回調査と比較して、建設業はプラス水準に改善したものの、情報サービス業や飲食業・宿泊業などの業況が悪化したため、全体の業況は、やや悪化しました。

2 製造業

(1) 業界の業況

前年同期（28年1月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 5.1$ となり、前回調査時（28年10月）の $\Delta 25.1$ より20.0ポイント改善しました。

3か月前（28年10月）と比較したD Iは $\Delta 1.3$ となり、前回調査時の $\Delta 3.4$ より2.1ポイント改善したものの、7期連続のマイナス水準となりました。

また、3か月後（29年4月）の予想では、設備投資の増加への期待感などを背景に、D Iは2.2とプラス水準になりました。

なお、アメリカの新大統領就任による県内経済の影響については、「影響あり」と回答した企業が22.6%（内、「プラスの影響」が1.3%、「マイナスの影響」が21.3%）、「わからない」と回答した企業が77.4%でした。

〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコン関連が低調に推移しているものの、スマートフォン向けの需要に持ち直しがみられます。プリンターは、国内需要が堅調に推移したものの、北米を中心に海外需要が減少したため、受注、生産に一服感がみられます。半導体関連、抵抗器・コンデンサ、モーター等は、自動車関連向けを中心に受注、生産が堅調に推移しています。

イ 一般機械では、工作機械は、自動車関連や半導体関連向けは、設備投資の回復傾向に伴い、受注、生産に持ち直しがみられます。建設機械は、国内向けは受注、生産の一部で持ち直しがみられるほか、海外向けは北米向けなどで受注、生産に回復がみられます。

ウ 精密では、時計はインバウンド需要の減少に伴い、受注、生産に一服感がみられます。レンズは、自動車関連向けは受注、生産に一服感がみられるほか、プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部に持ち直しがみられます。計器は、圧力計は自動車向けや産業機械向けの受注、生産に持ち直しがみられるほか、LPガスメーターは、取替需要等により受注、生産が増加しています。

エ 自動車部品では、海外向けは北米などで受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けで受注、生産に弱さがみられます。

オ 食料品では、味そは季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。酒類は、清酒は消費の低迷により低調に推移しているものの、ワインでは受注、生産に持ち直しがみられます。飲料は季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が減少しています。

(2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が32.3%と前回(24.1%)より増加し、「減少」とする企業が28.5%と前回(40.5%)より減少した結果、D Iは前回(△16.4%)から改善し、3.8となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が23.9%と前回(23.7%)より増加し、「減少」とする企業が26.5%と前回(22.4%)より増加した結果、D Iは前回(1.3)より悪化し、△2.6となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が24.9%、「減少」とする企業が14.6%となった結果、D Iは前回予想(△10.0)より改善し、10.3となりました。

(3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が33.2%と前回(26.7%)より増加し、「減少」とする企業が28.9%と前回(38.4%)より減少した結果、D Iは前回(△11.7)より改善し、4.3となりました。

3か月前との比較では、「増加」とする企業が20.1%と前回(26.0%)より減少し、「減少」とする企業が30.3%と前回(21.2%)より増加した結果、D Iは前回(4.8)より悪化し、△10.2となりました。

3か月後の予想については、「増加」とする企業が24.9%、「減少」とする企業が17.2%となった結果、D Iは前回予想(△8.3)より改善し、7.7となりました。

(4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が4.7%と前回(4.3%)より増加し、「安い」とする企業が26.7%と前回(30.8%)より減少した結果、D Iは前回(△26.5)より改善し、△22.0となりました。

3か月前との比較では、「高い」とする企業が3.8%と前回(3.0%)より増加し、「安い」とする企業が9.4%と前回(12.9%)より減少した結果、D Iは前回(△9.9)より改善し、△5.6となりました。

3か月後の予想については、「高い」とする企業が2.1%、「安い」とする企業が14.2%となった結果、D Iは前回予想(△12.6)より改善し、△12.1となりました。

(5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が11.7%と前回(7.0%)より増加し、「苦しい」とする企業が15.7%と前回(17.6%)より減少した結果、D Iは前回(△10.6)より改善し、△4.0となりました。

3か月前との比較では、「らく」とする企業が7.0%と前回(6.2%)より増加し、「苦しい」とする企業が8.3%と前回(12.9%)より減少した結果、D Iは前回(△6.7)より改善し、△1.3となりました。

3か月後の予想については、「らく」とする企業が5.7%、「苦しい」とする企業が11.8%となった結果、D Iは前回予想(△8.9)より改善し、△6.1となりました。

(6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が22.5%と前回(17.5%)より増加し、「低下」とする企業が28.4%と前回(37.2%)より減少した結果、D Iは前回(△19.7)より改善し、△5.9となりました。

3か月前との比較では、「上昇」とする企業が14.5%と前回(11.2%)より増加し、「低下」とする企業が20.4%と前回(20.7%)より減少した結果、D Iは前回(△9.5)より改善し、△5.9となりました。

3か月後の予想については、「上昇」とする企業が14.1%、「低下」とする企業が20.5%となった結果、D Iは前回予想(△16.0)より改善し、△6.4となりました。

(7) 製造業の業種別動向

電機・電子

- (コンピュータ・情報機器) パソコン関連は低調に推移しています。
プリンターは、国内需要が堅調に推移したものの、北米を中心に海外需要が減少したため、受注、生産に一服感がみられます。
- (半導体関連) 自動車関連向けで、海外需要にけん引され堅調に推移しているほか、産業用途で受注、生産に持ち直しがみられるものの、デジタル家電向けで、受注、生産が弱含んでいます。
- (プリント基板) 情報機器では、スマートフォン向けに持ち直しがみられます。
- (抵抗器・コンデンサ等) 自動車関連向けでは、海外向けを中心に受注、生産が回復しているほか、家電向けで、需要の増加により、受注、生産が持ち直しています。また、エネルギー関連向けでは受注、生産が低調に推移しています。
- (モーター等) 家電向けは、受注、生産が低調に推移しています。産業用途や自動車関連向けの一部では、海外を中心とした需要の増加により、受注、生産に持ち直しがみられます。
- (その他) カーナビゲーションは、北米で続く好調な需要により、受注、生産が堅調に推移しています。電源関連は、国内需要の減少により、低調に推移しています。

一般機械

- (工作機械) 自動車関連や半導体関連向けは、設備投資の回復傾向に伴い、受注、生産に持ち直しがみられます。
- (金型) 自動車関連向けでは、国内需要の減少により、受注、生産に弱さがみられます。
- (建設機械) 国内向けは受注、生産の一部で持ち直しがみられるほか、海外向けは北米向けなどで受注、生産に回復がみられます。
- (農業用機械等) 国内向けでは季節的要因により、生産が持ち直したほか、北米や欧州の海外向けで、受注、生産が弱含んでいます。

精 密	
(時 計)	腕時計は、インバウンド需要の減少に伴い、受注、生産に一服感がみられます。
(レ ン ズ)	自動車関連向けは受注、生産に一服感がみられるほか、プロジェクター向けなどの高付加価値製品の一部に持ち直しがみられます。
(計 器)	圧力計は、自動車向けや産業機械向けの受注、生産に持ち直しがみられるほか、LPガスメーターは、取替需要等により受注、生産が増加しています。
自 動 車 部 品	海外向けは、北米などで受注、生産が堅調に推移しているものの、国内向けで受注、生産に弱さがみられます。
食 料 品	
(味 そ)	季節的要因により、3か月前と比べ受注、生産が減少しています。
(酒 類)	清酒は、消費の低迷により低調に推移しているものの、ワインでは受注、生産に持ち直しがみられます。
(飲 料)	季節的要因により、ペットボトル飲料を中心に受注、生産が減少しています。
織 維 ・ 衣 服	ワイシャツは、季節的要因により受注、生産が増加しています。
紙 ・ パルプ	ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産に減少しています。
印 刷	印刷・製本の需要の低迷により、引き続き低調に推移しています。
そ の 他	プラスチック成型部品は、スマートフォン向けで、受注、生産で持ち直しがみられます。

3 非製造業

業界の業況

前年同期（28年1月）と比較したD Iは $\Delta 36.4$ となり、前回調査時（28年10月）の $\Delta 33.6$ から2.8ポイント悪化しました。

3か月前（28年10月）と比較したD Iは $\Delta 39.6$ となり、前回調査時の $\Delta 23.6$ と比較すると16.0ポイント悪化しました。

なお、3か月後（29年4月）の予想は、業況D Iが $\Delta 16.5$ と前回調査時の $\Delta 34.8$ と比較すると18.3ポイント改善する見通しです。

〔各業種の動き〕

ア 建設業

建設業では、工事受注の増加等により、売上高D I、販売価格D Iなどが改善したことから、業況D Iは3.3と前回（ $\Delta 17.7$ ）より大幅に改善し、26年1月調査以来のプラス水準となりました。

3か月後は、客数（受注件数）D I、販売価格D Iの低下により、業況D Iは低下が予想されます。

イ 情報サービス業

情報サービス業では、人手不足などにより、売上高D I、客数（受注件数）D I、収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは $\Delta 9.1$ と前回（0.0）より悪化しました。

3か月後は、販売価格D I、収益率D Iの低下により、業況D Iは低下が予想されます。

ウ 小売業・卸売業

小売業・卸売業では、業況D Iが $\Delta 46.1$ と前回（ $\Delta 40.1$ ）より悪化しました。

小売業では、個人消費の低迷などにより、売上高D I、客数D Iが悪化したことから、業況D Iは悪化しました。3か月後は、自動車を中心とした新商品などへの期待により、業況D Iは改善が予想されます。

卸売業では、関連業種の業況回復に伴い、売上高D I、客数（取引件数）D I、収益率D Iが改善したことから、業況D Iは改善しました。3か月後についても、売上高D Iや客数（取引件数）D Iの改善により、業況D Iは改善が予想されます。

エ 飲食業・宿泊業

飲食業・宿泊業では、業況D Iが $\Delta 44.1$ と前回（ $\Delta 35.2$ ）より悪化しました。

飲食業では、法人需要の低下などにより、売上高D I、客数D Iが悪化したことから、業況D Iは悪化しました。3か月後は、売上高D I、客数D I、収益率D Iの改善により、業況D Iは改善が予想されます。

宿泊業では、客単価の低下などにより、売上高D I、収益率D Iが悪化したことから、業況D Iは悪化しました。3か月後は、売上高D I、客数D I、収益率D Iなどの改善により、業況D Iは改善が予想されます。

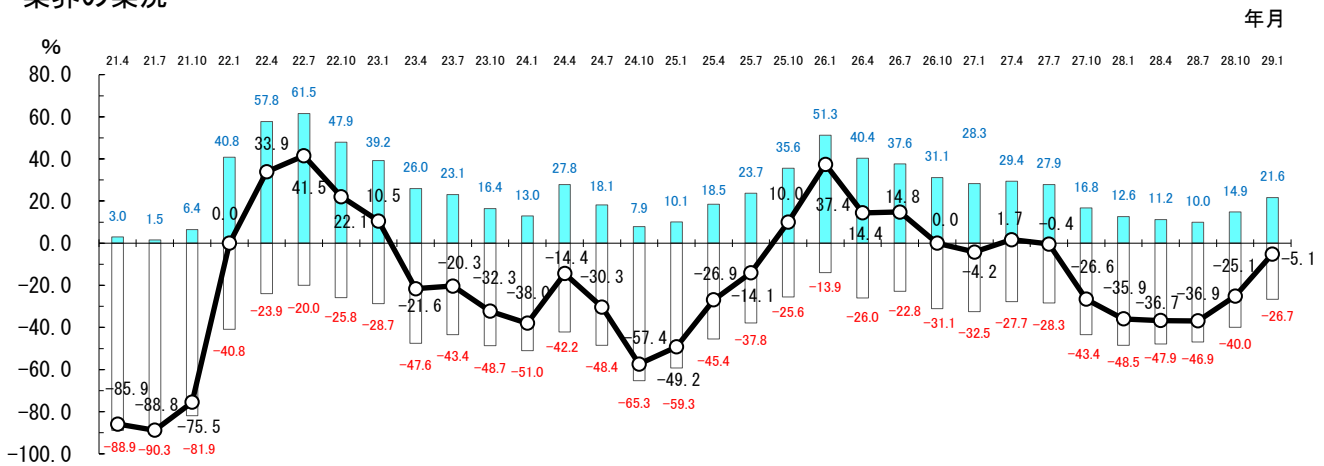
景気動向調査集計結果

(注) 棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

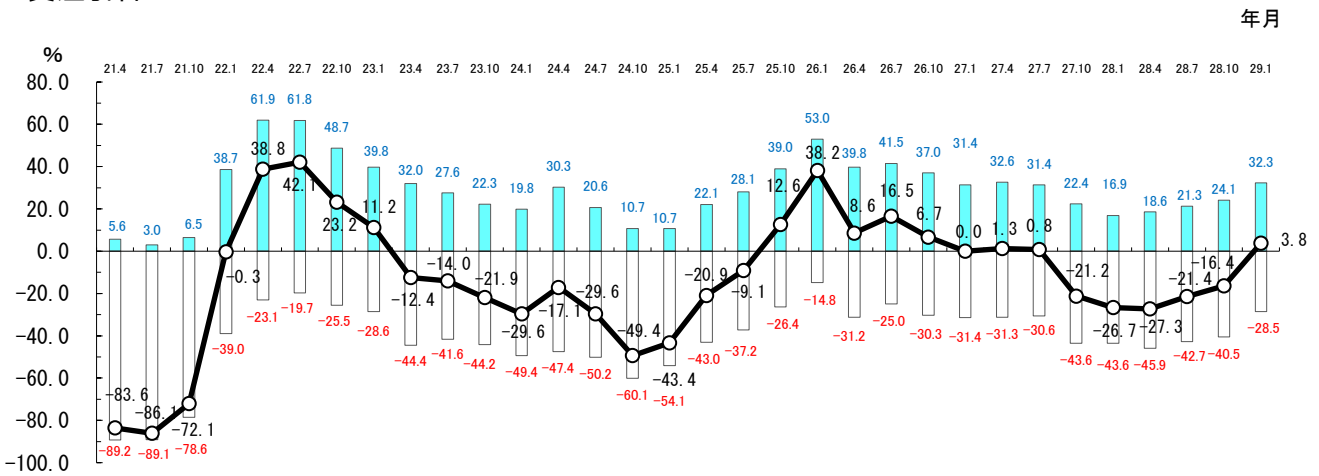
1 製造業

(1) 前年同期に比べて

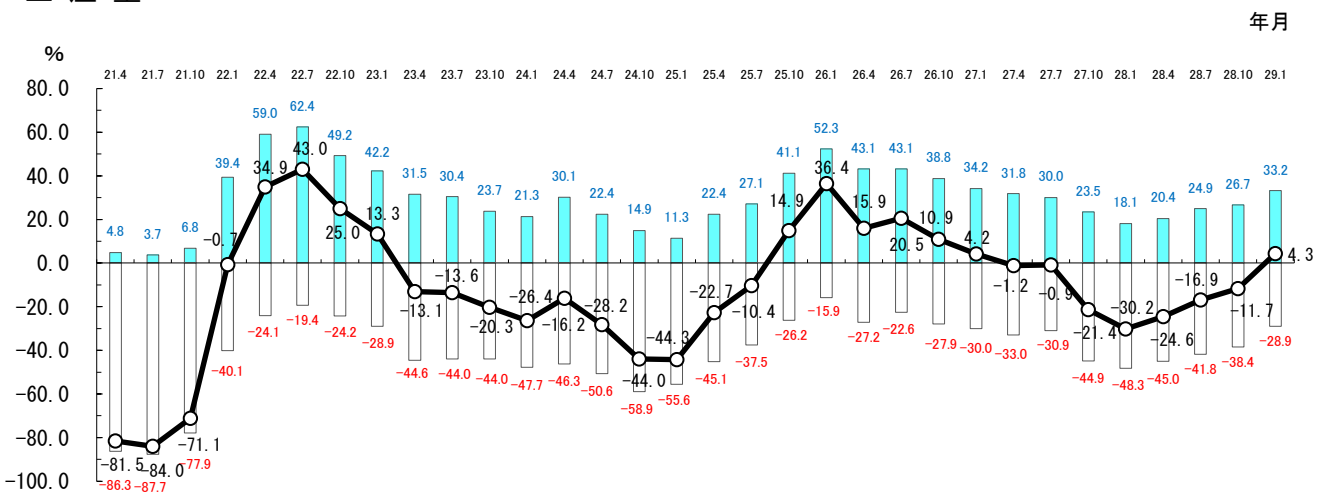
業界の業況



受注引合

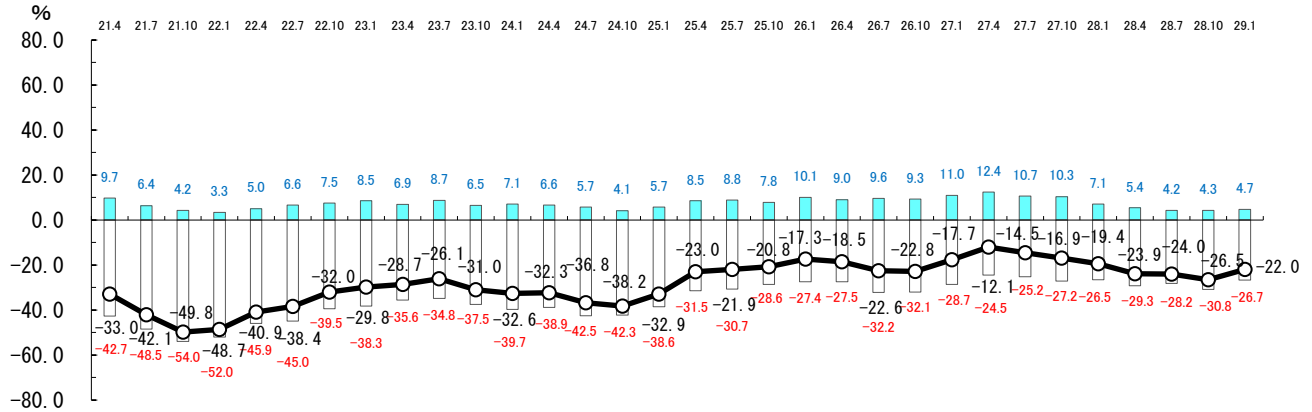


生産量



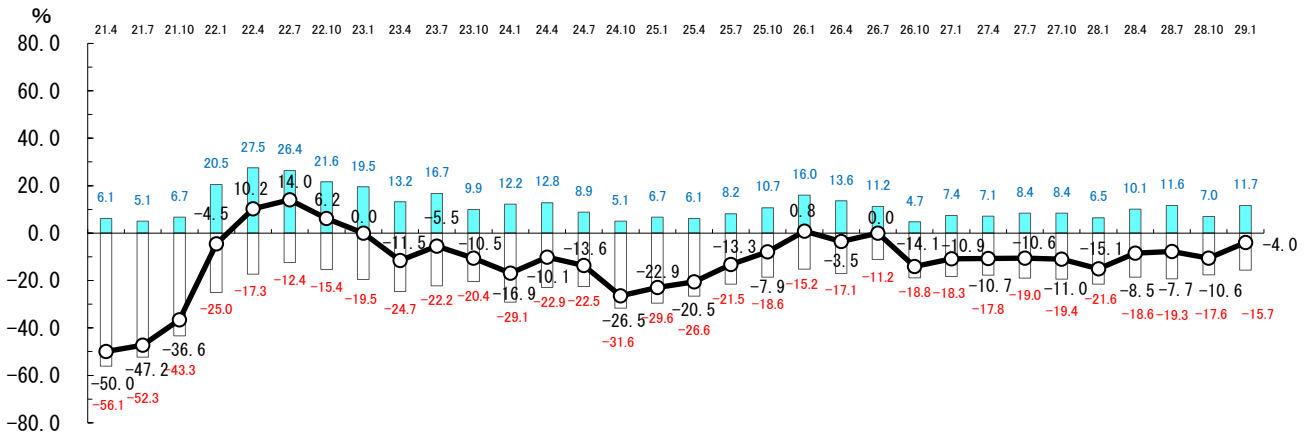
製品販売価格

年月



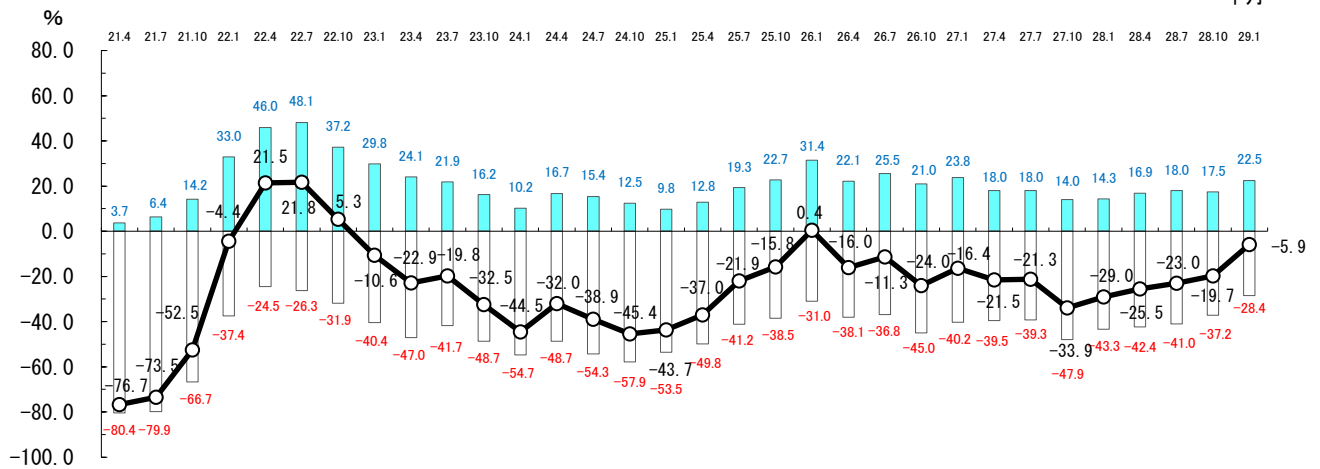
資金繰り

年月



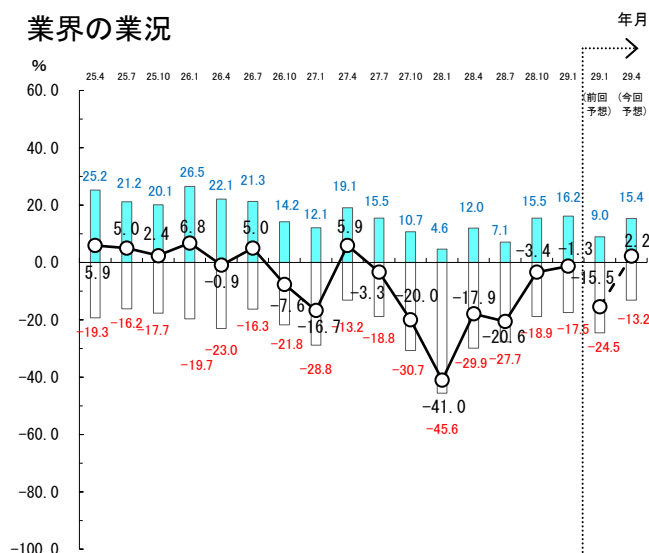
収益率

年月

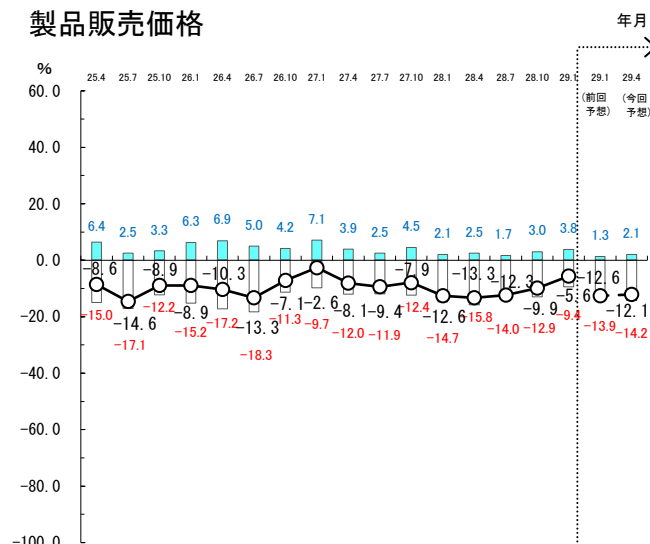


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

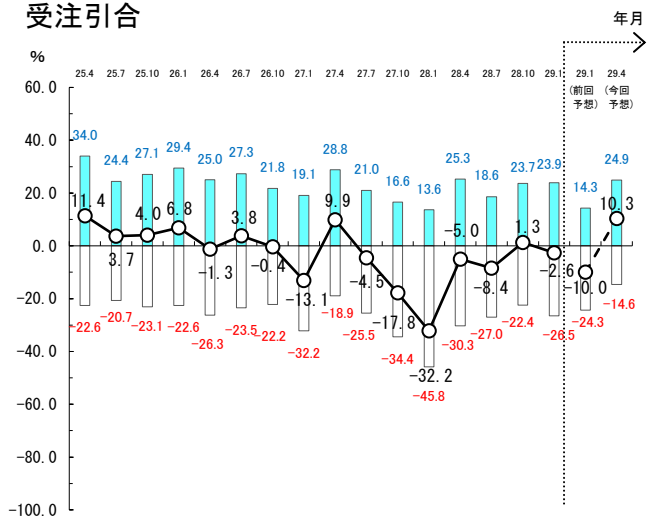
業界の業況



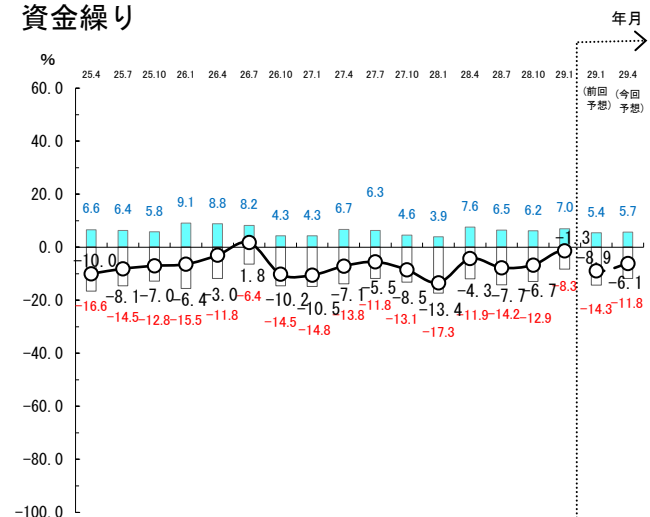
製品販売価格



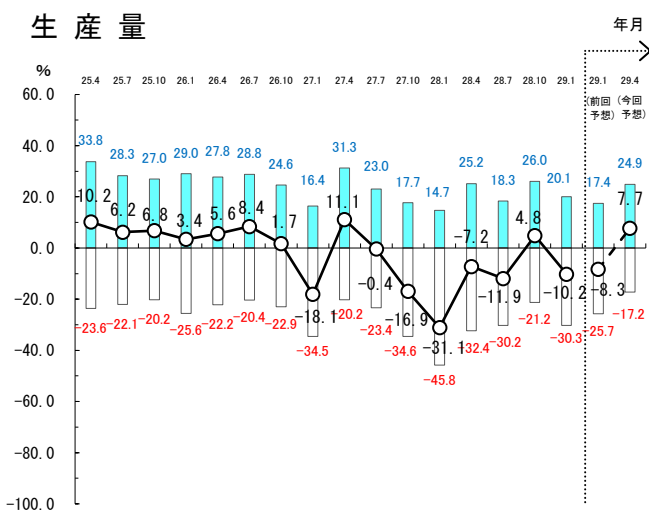
受注引合



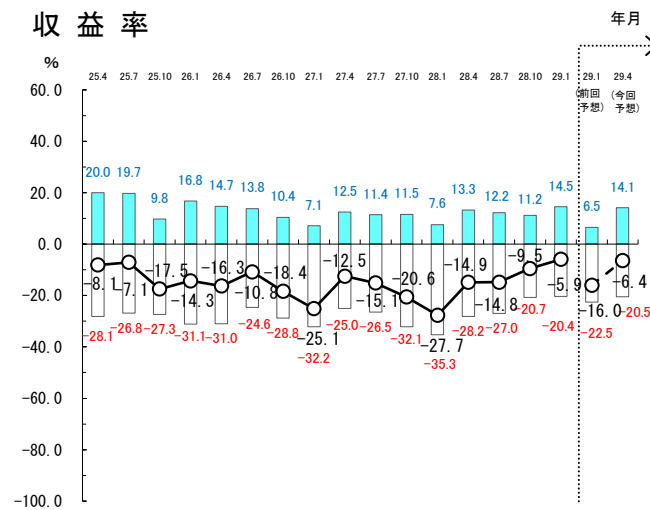
資金繰り



生産量



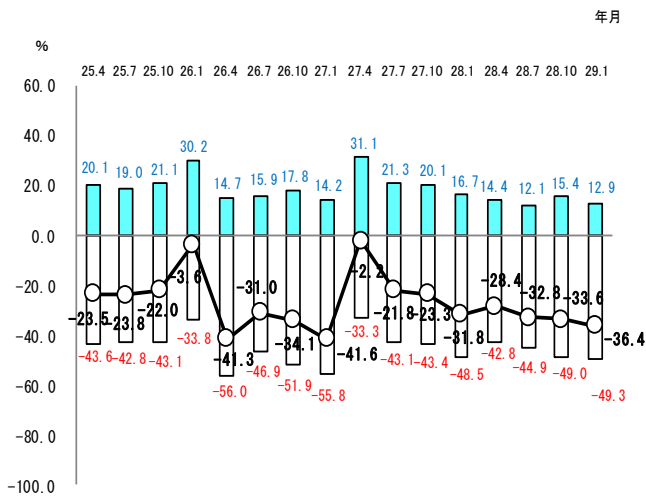
収益率



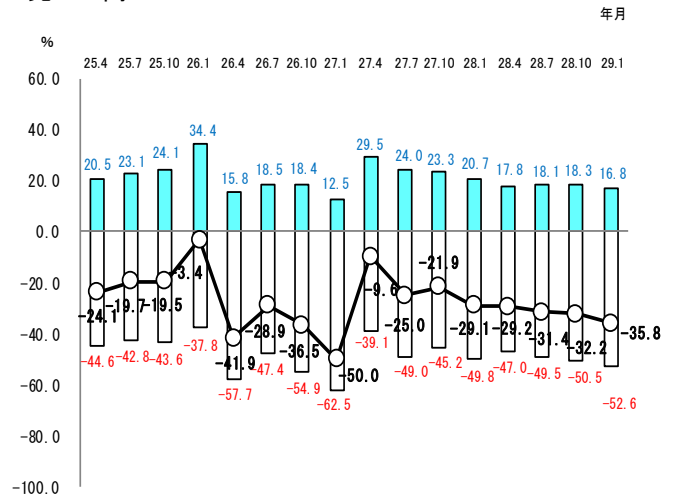
(1) 前年同期に比べて

非製造業全体

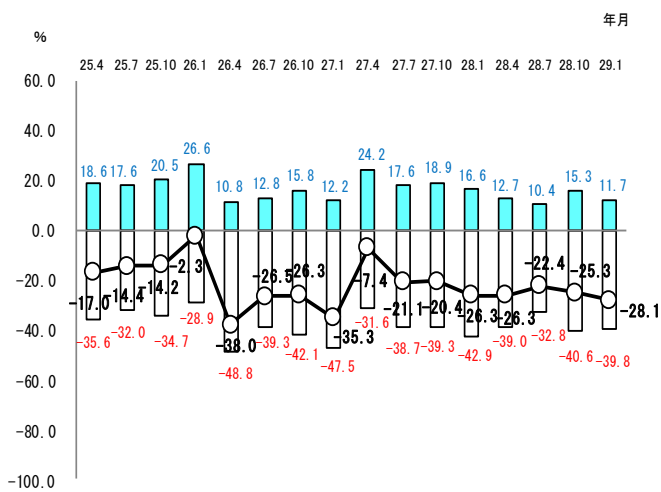
業況



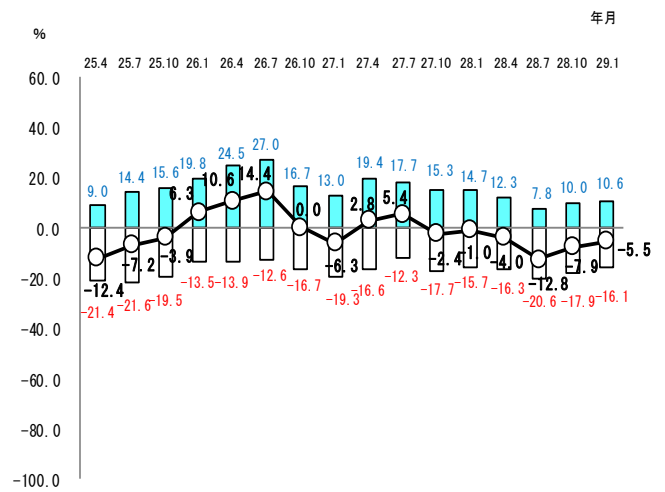
売上高



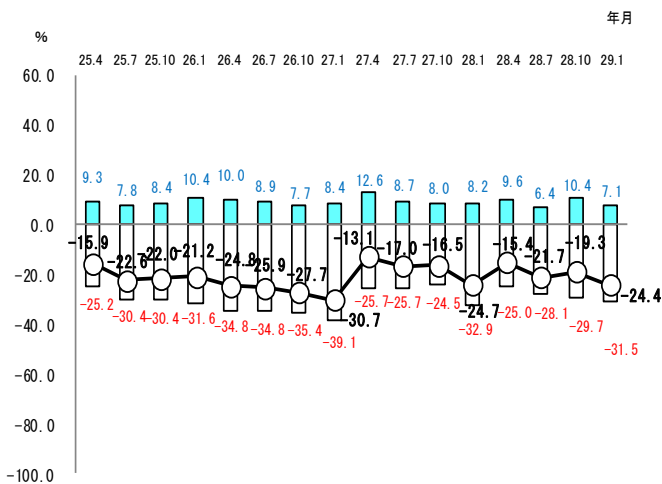
客数 (受注件数)



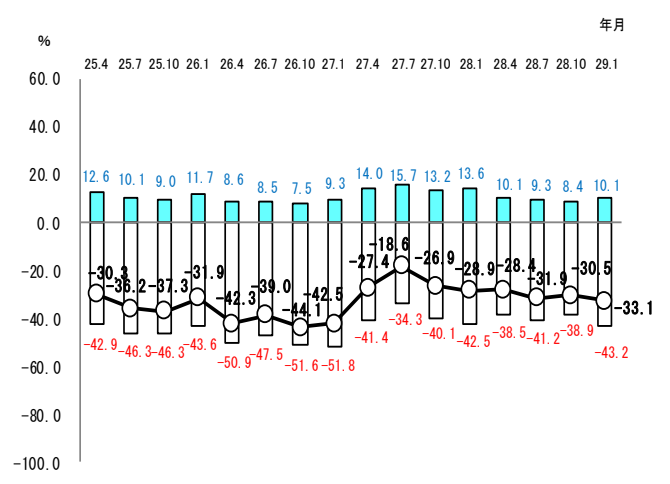
販売価格



資金繰り

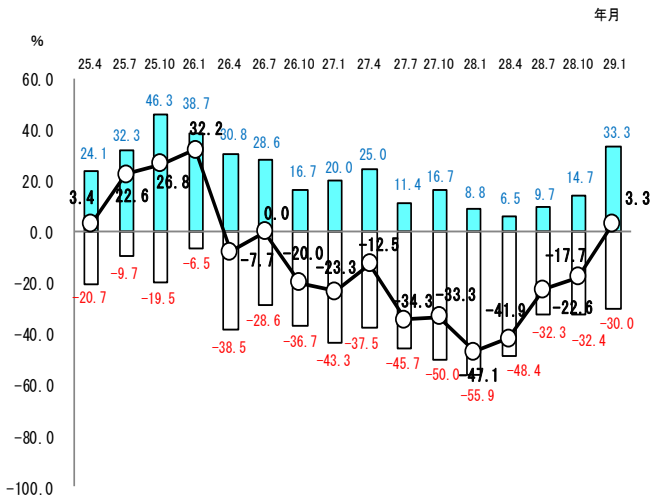


収益率

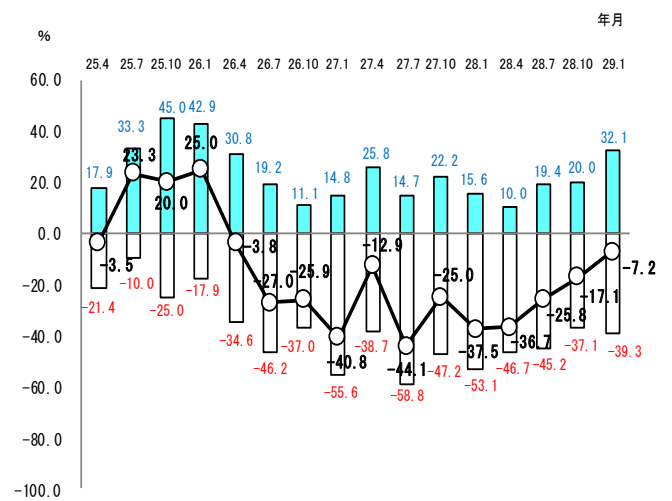


ア 建設業

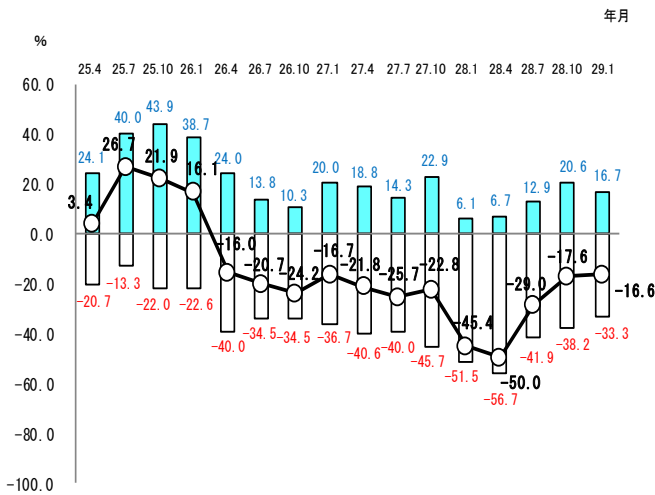
業況



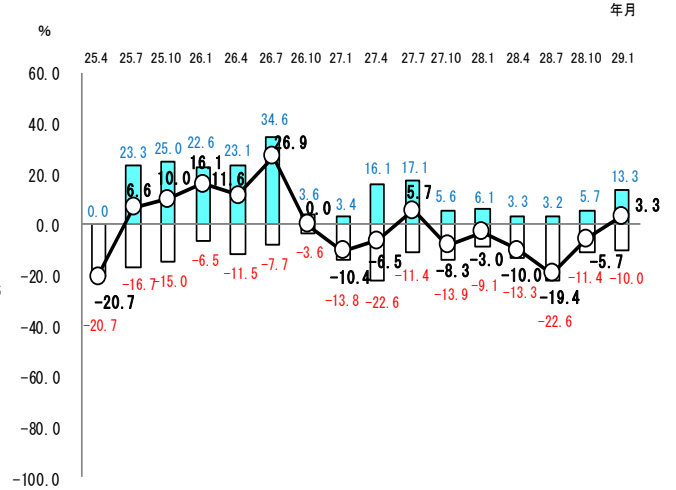
売上高



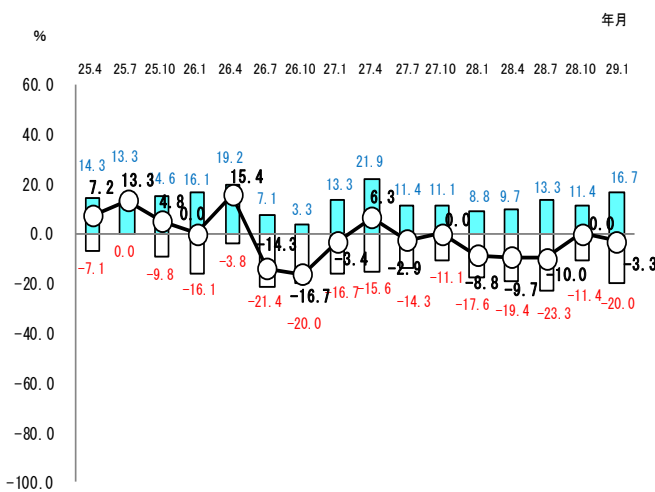
客数 (受注件数)



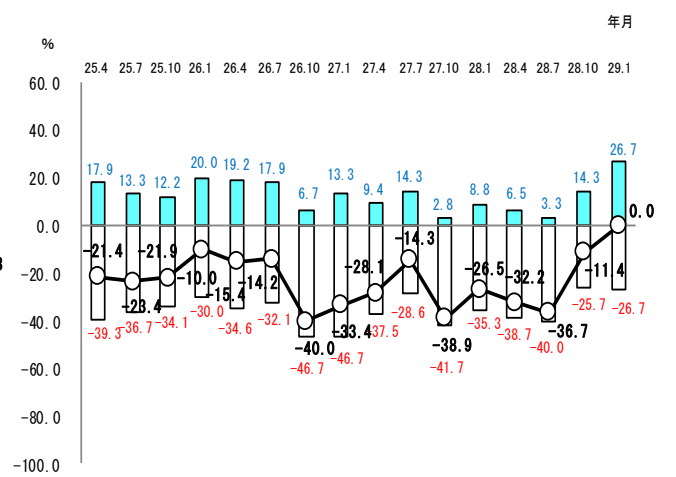
販売価格



資金繰り

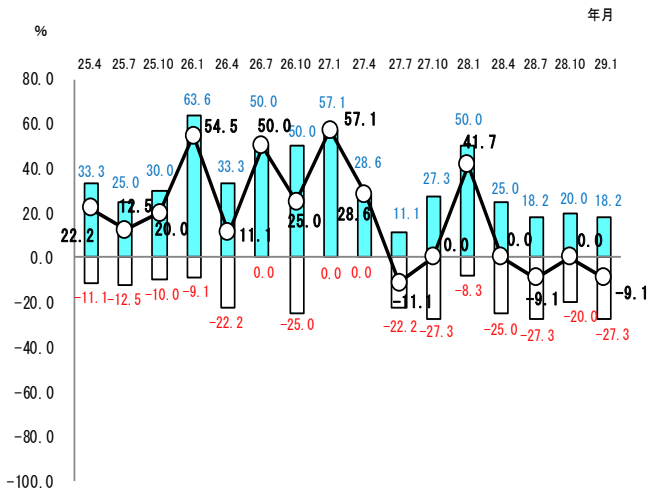


収益率

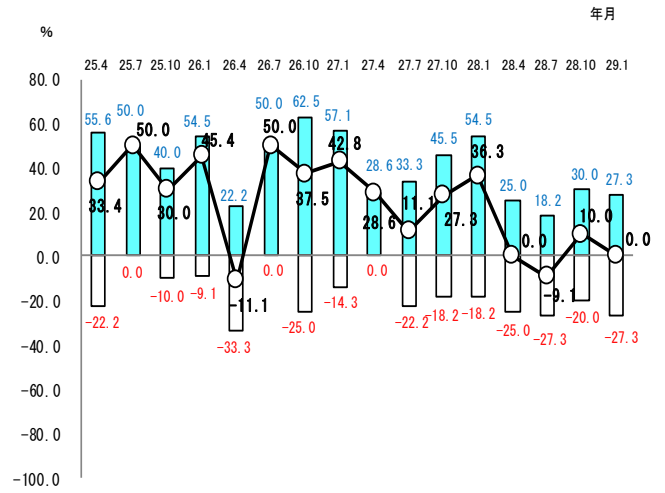


イ 情報サービス業

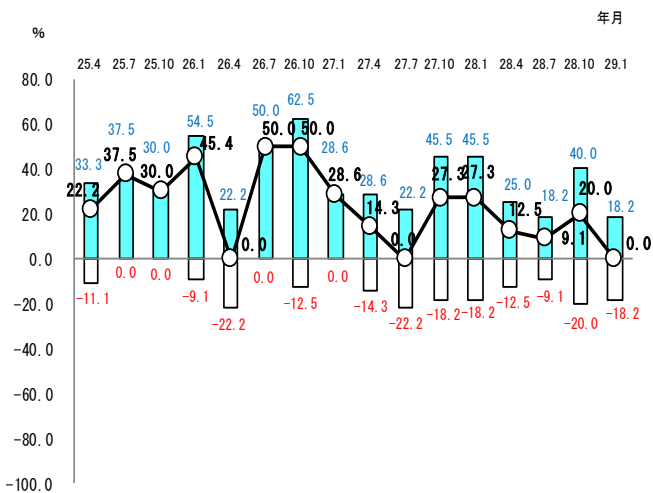
業況



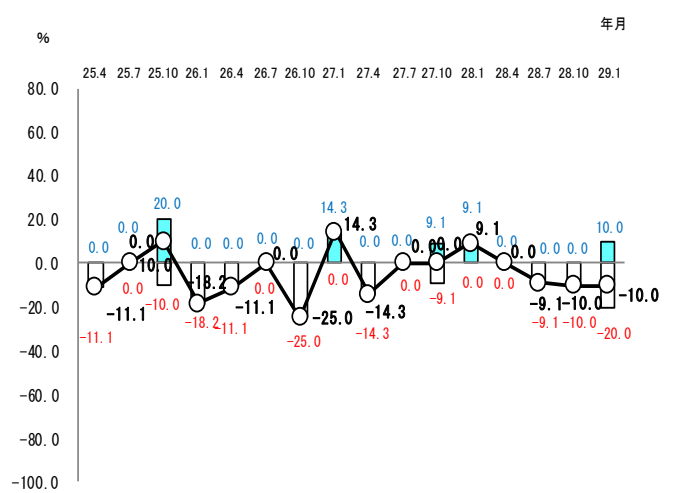
売上高



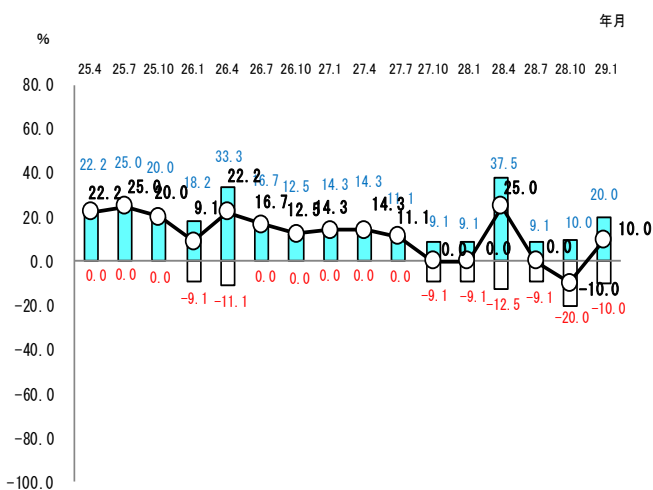
客数 (受案件数)



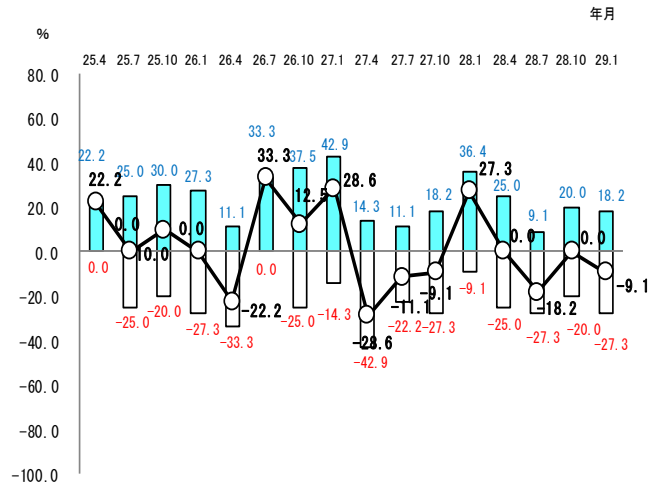
販売価格



資金繰り

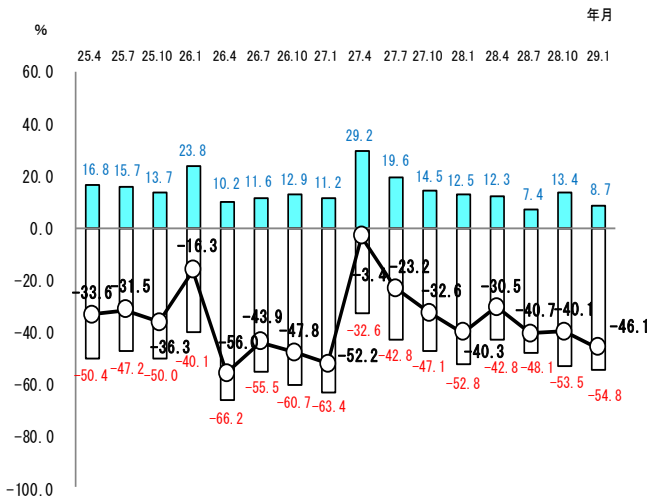


収益率

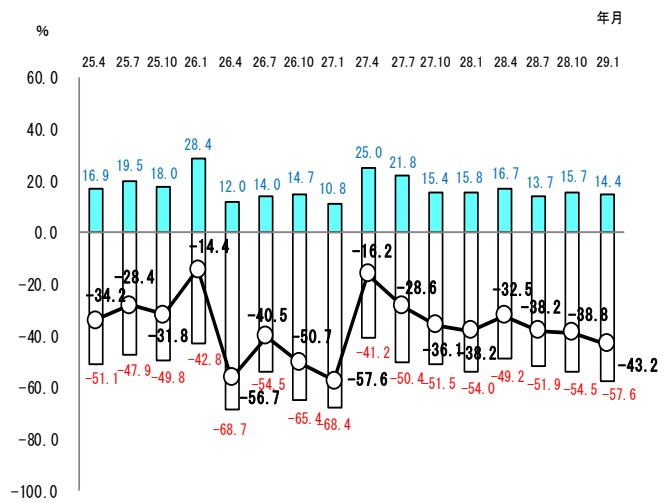


ウ 小売業・卸売業

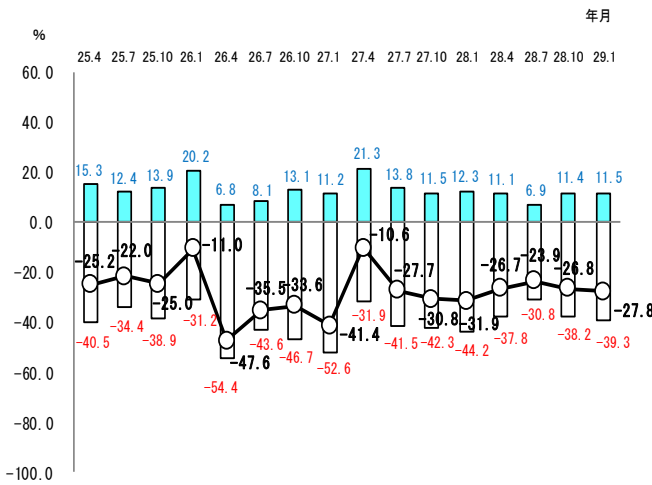
業況



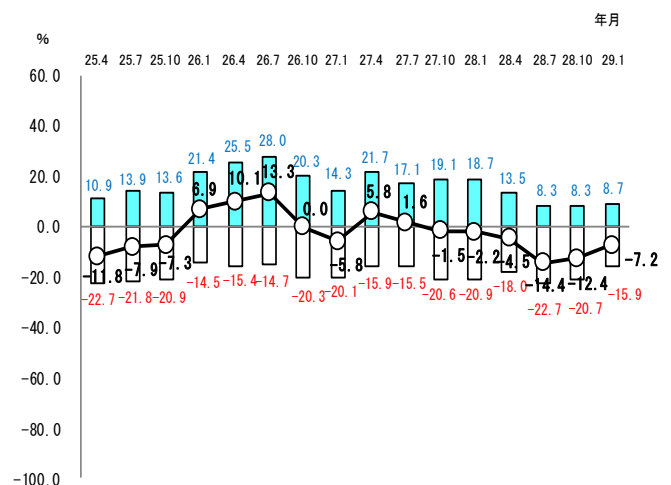
売上高



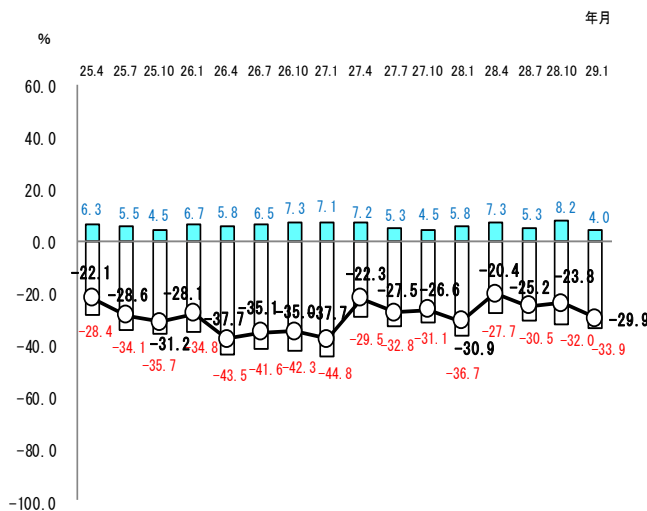
客数 (取引先数)



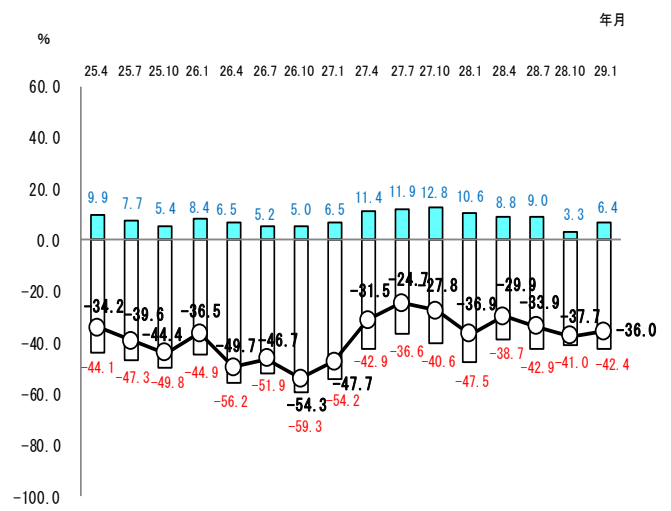
販売価格



資金繰り

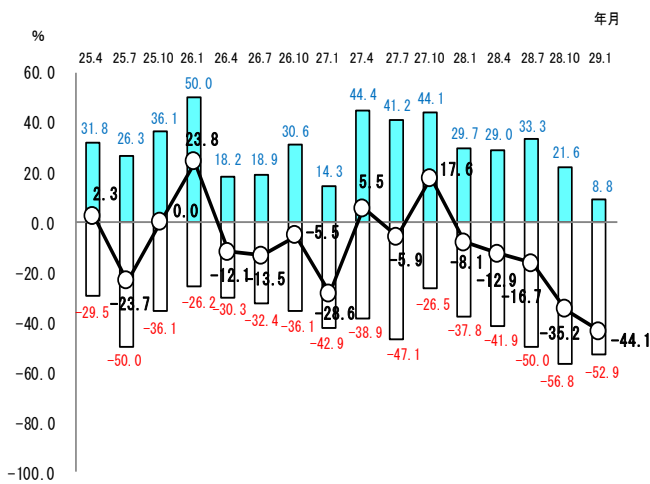


収益率

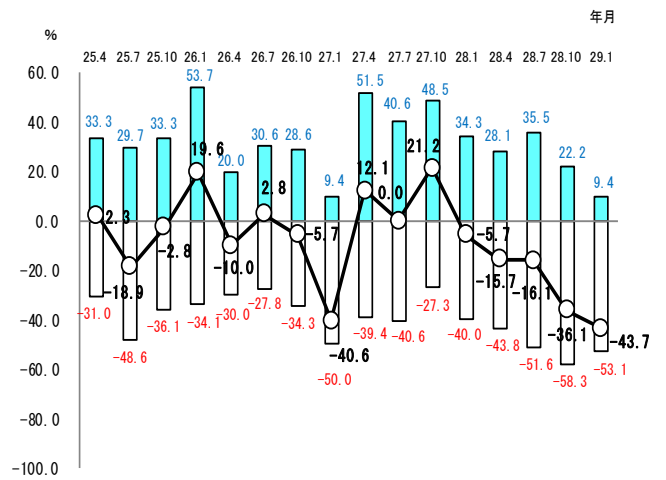


工 飲食業・宿泊業

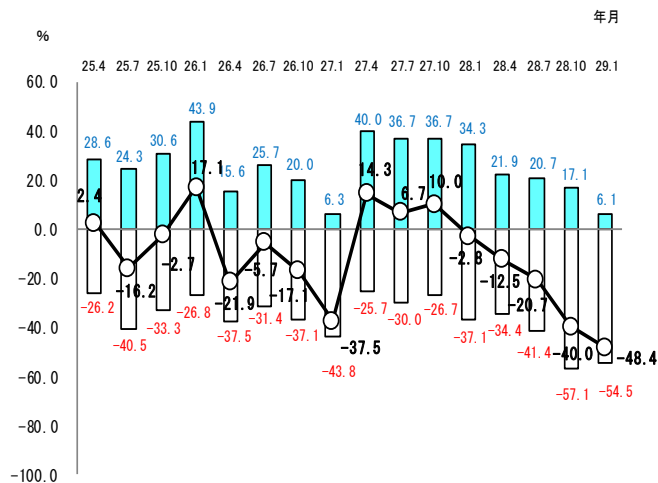
業況



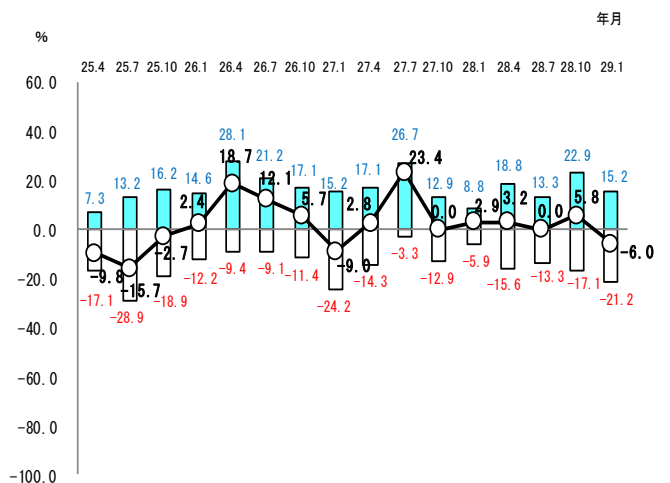
売上高



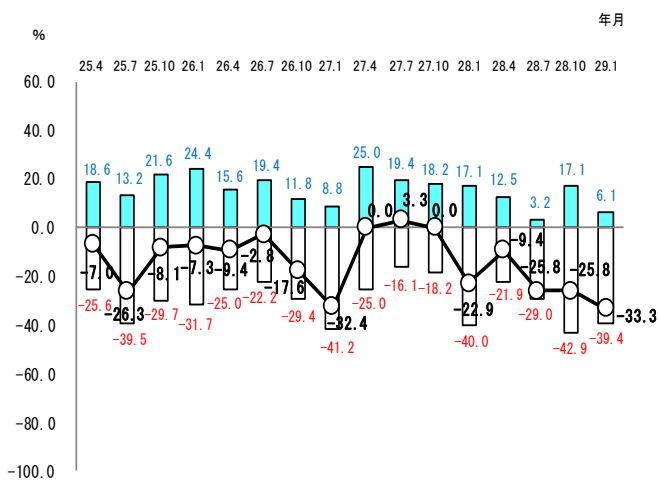
客数



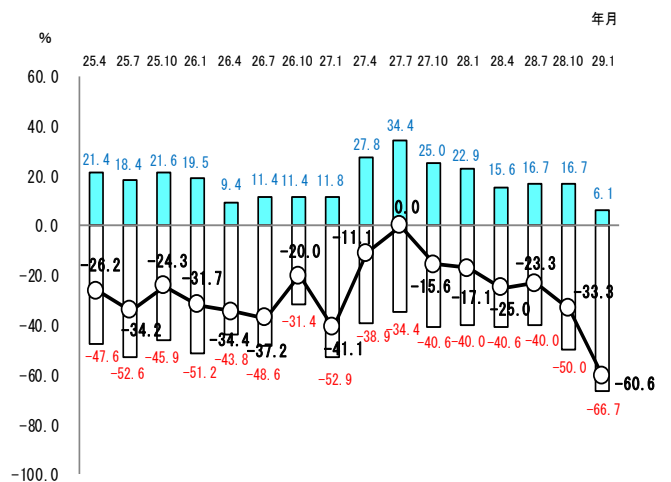
販売価格



資金繰り

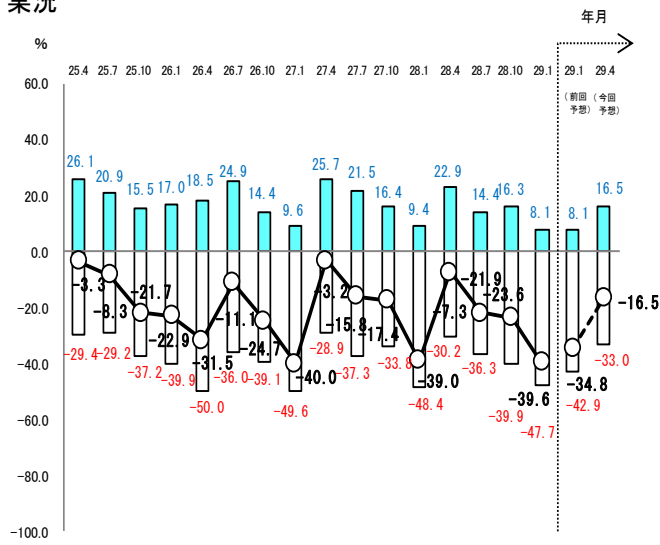


収益率

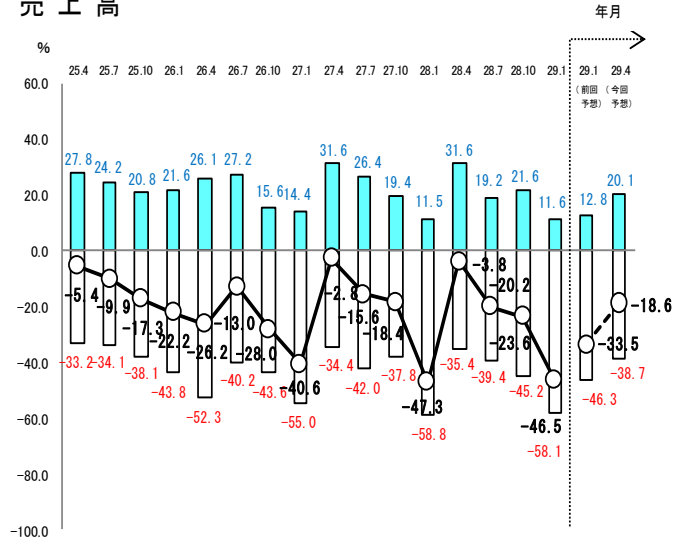


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想 非製造業全体

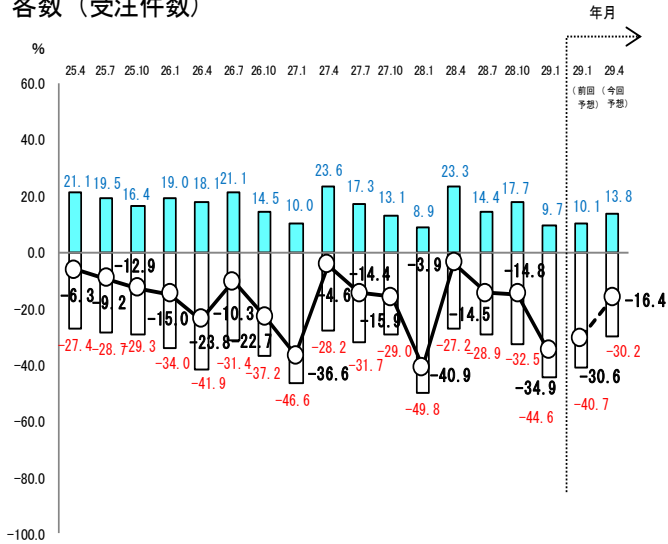
業況



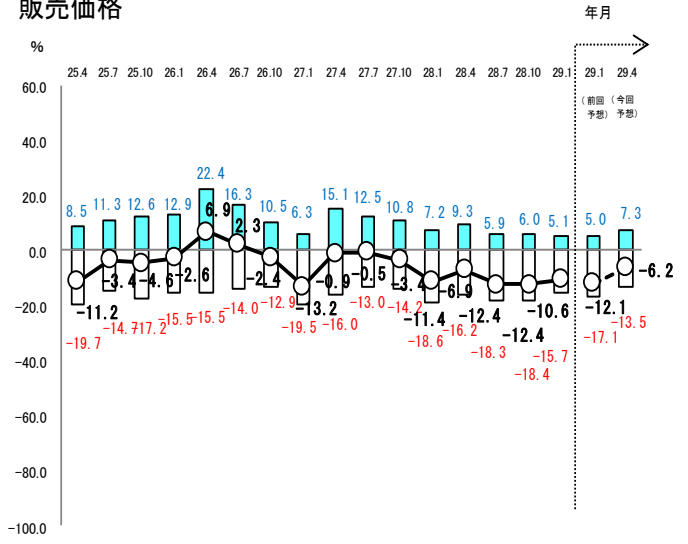
売上高



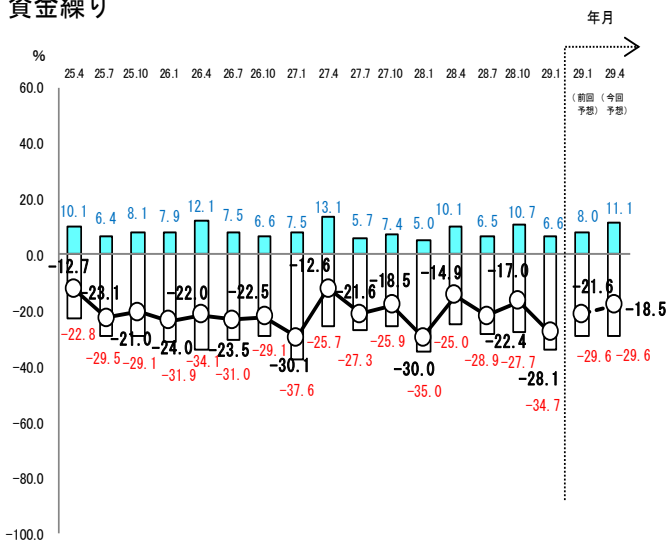
客数 (受注件数)



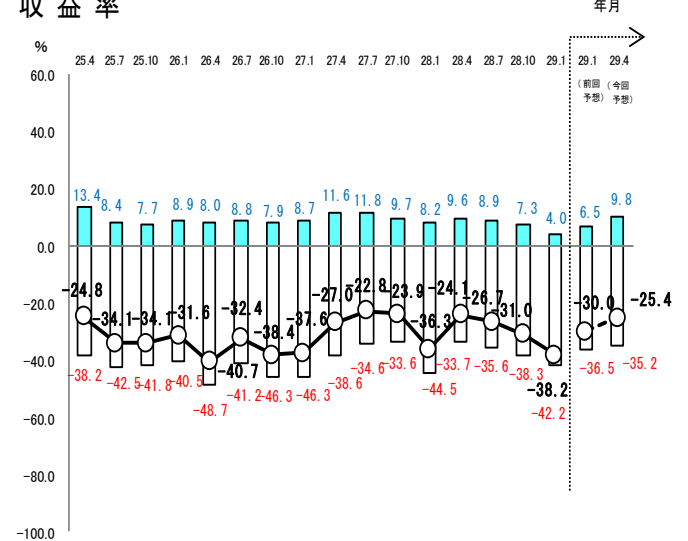
販売価格



資金繰り

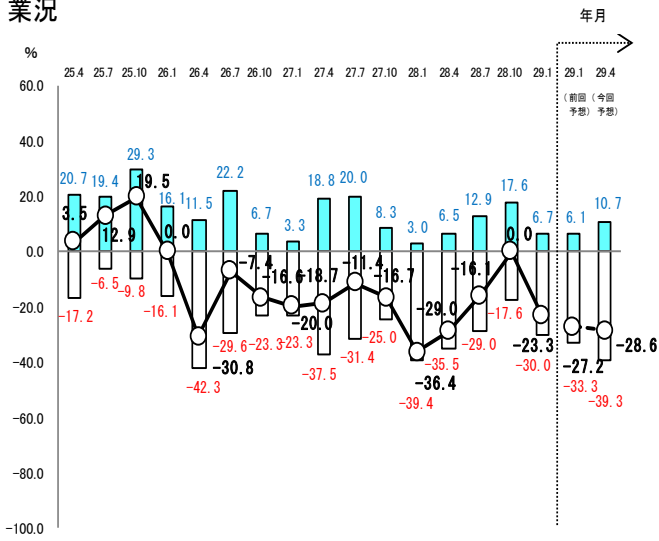


収益率

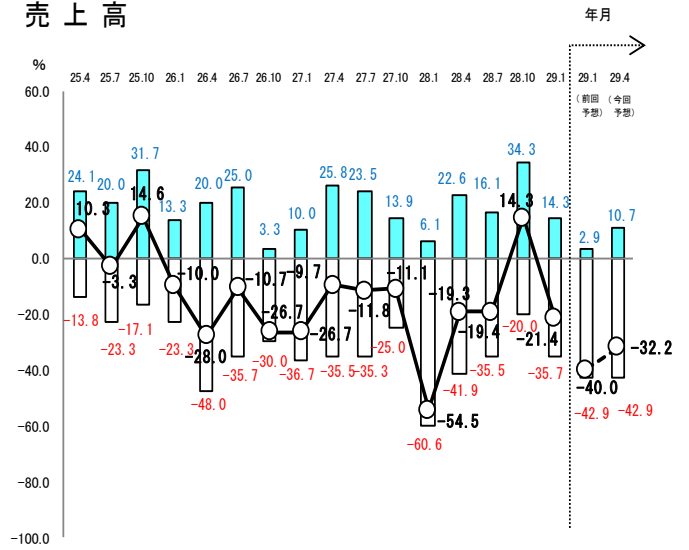


ア 建設業

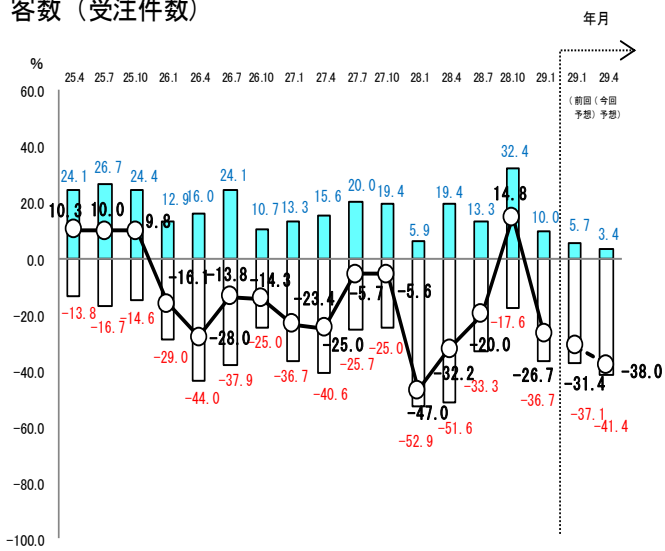
業況



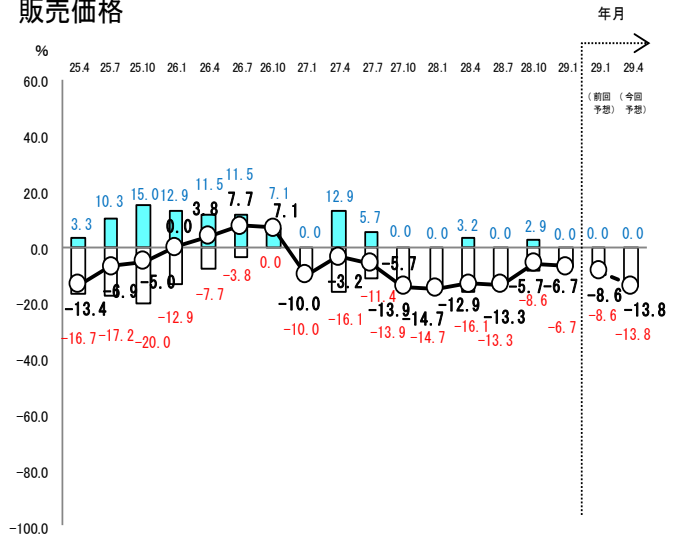
売上高



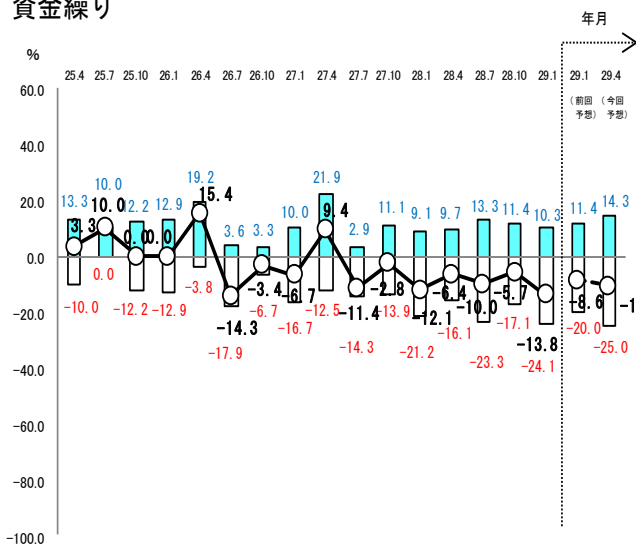
客数 (受注件数)



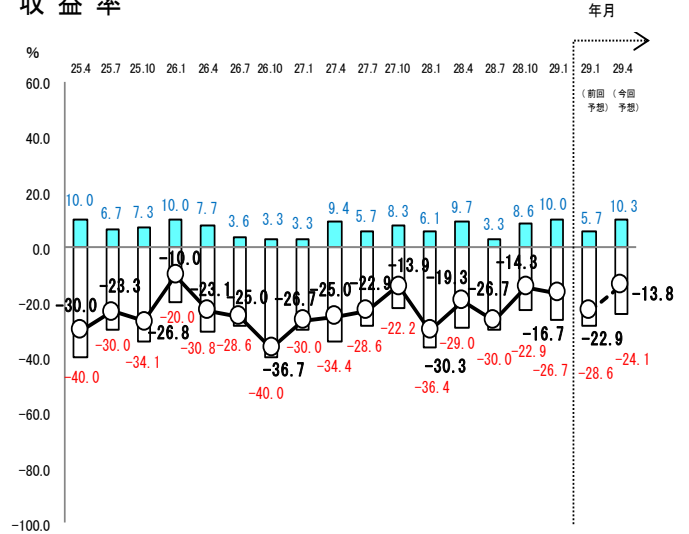
販売価格



資金繰り

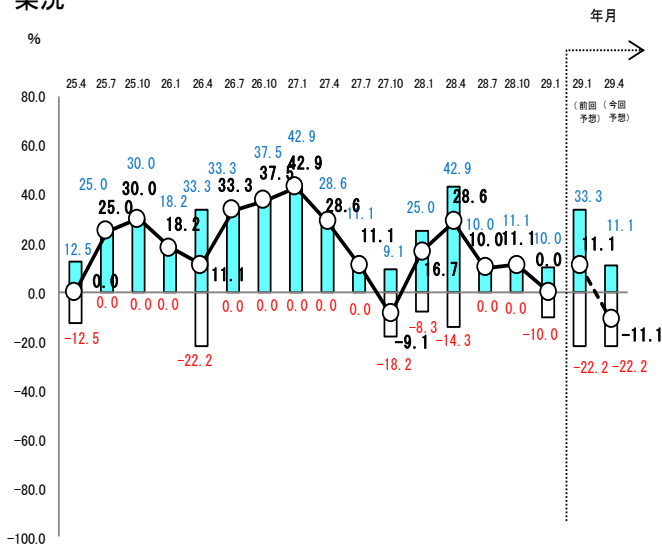


収益率

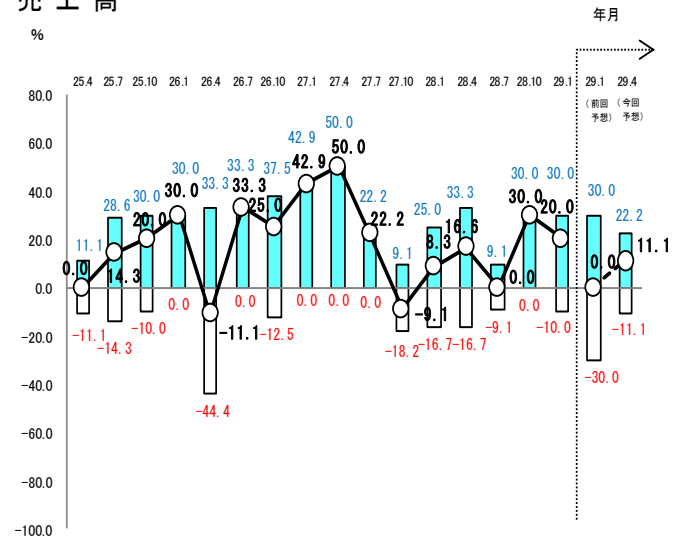


イ 情報サービス業

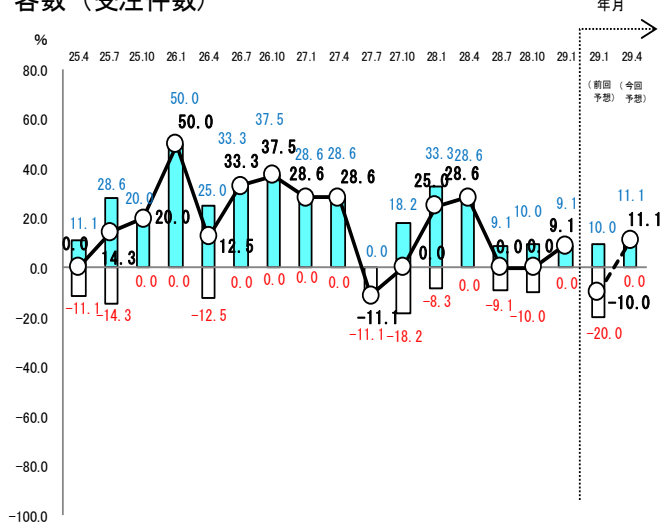
業況



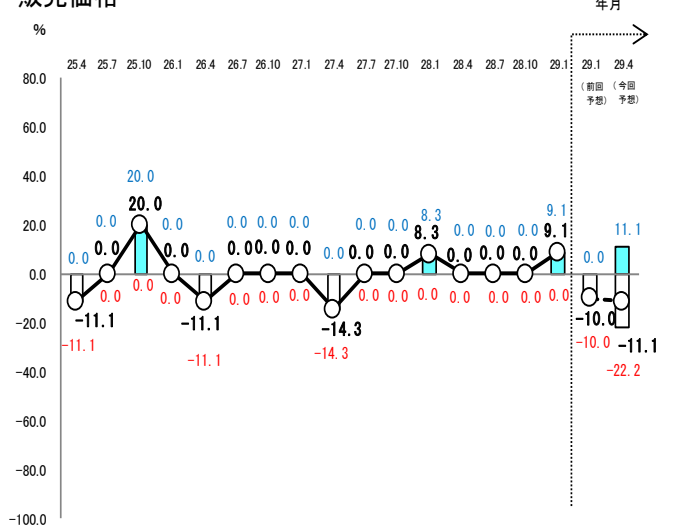
売上高



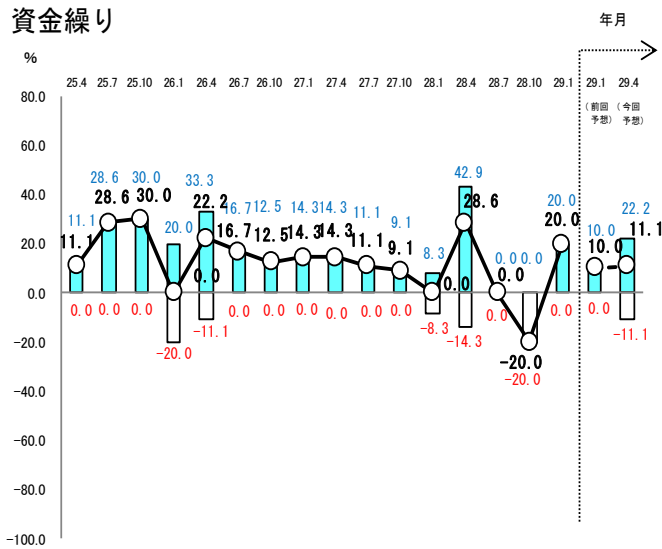
客数 (受案件数)



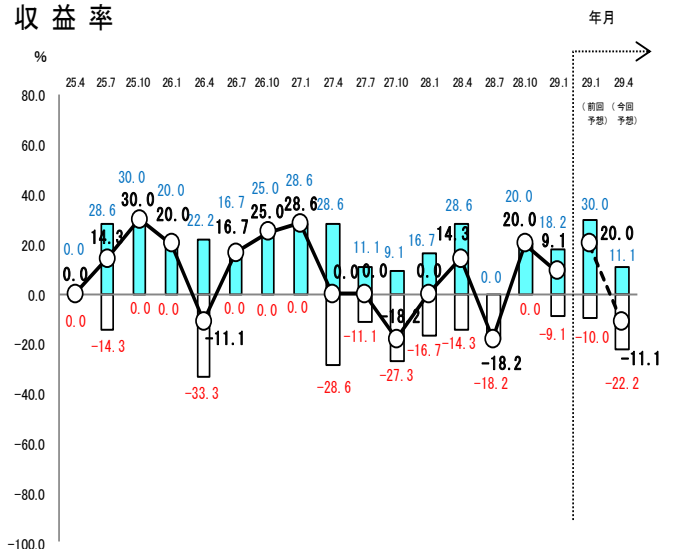
販売価格



資金繰り

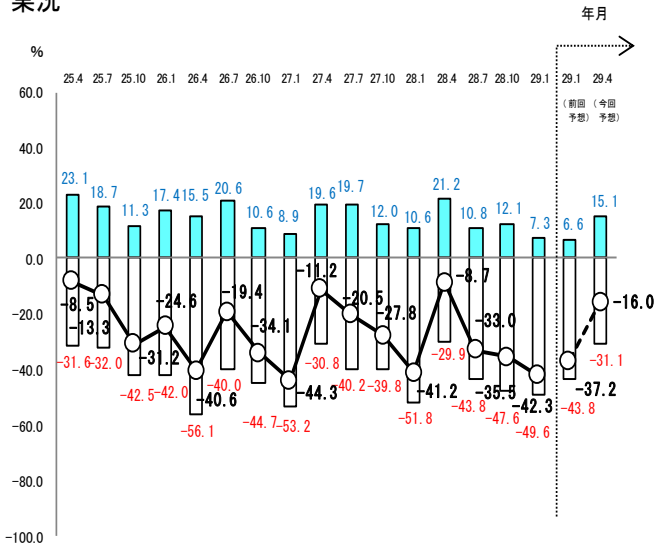


収益率

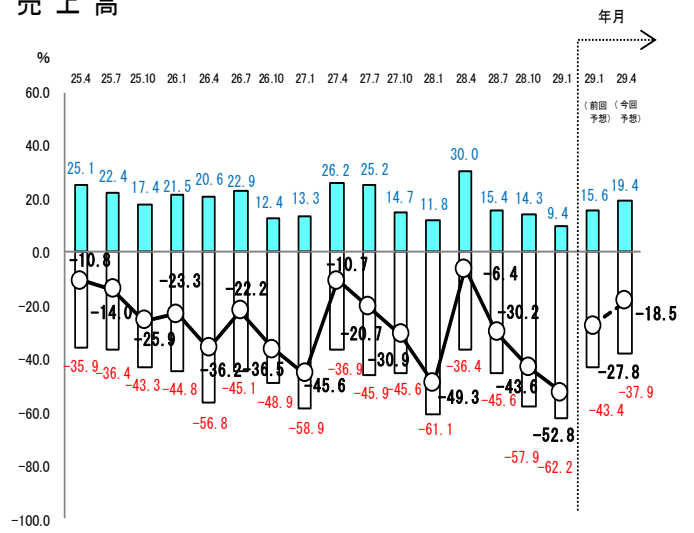


ウ 小売業・卸売業

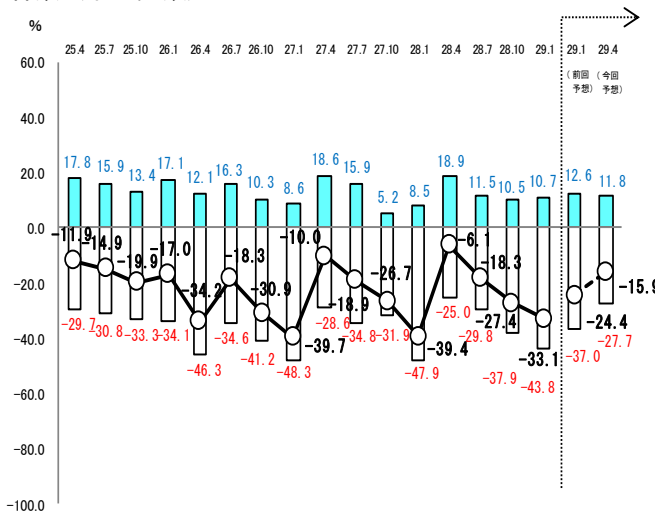
業況



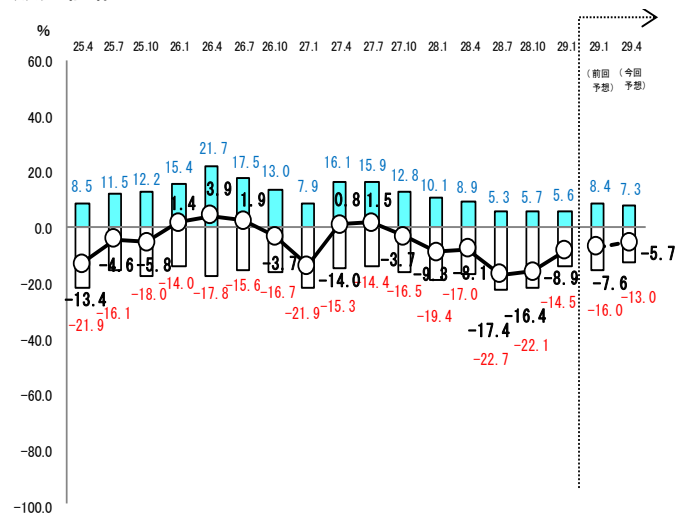
売上高



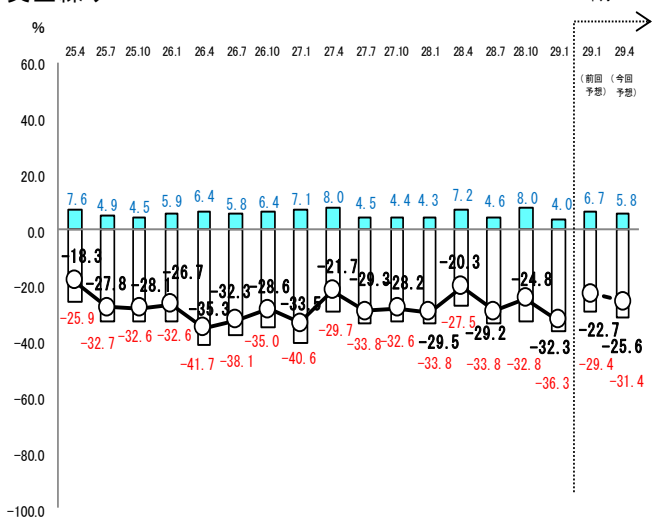
客数 (取引先数)



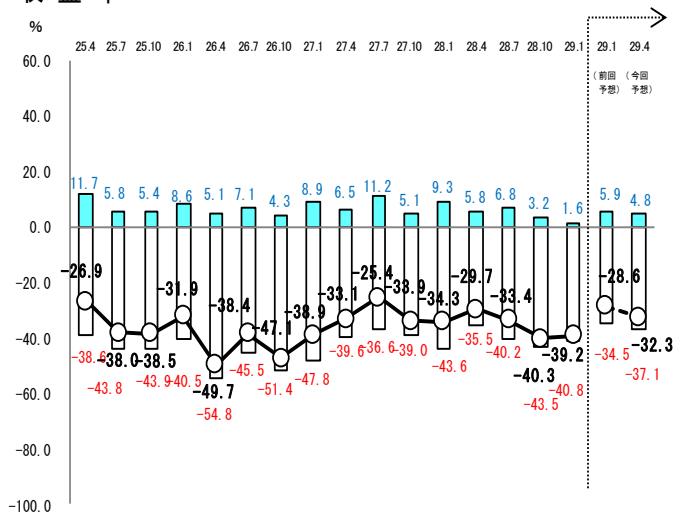
販売価格



資金繰り

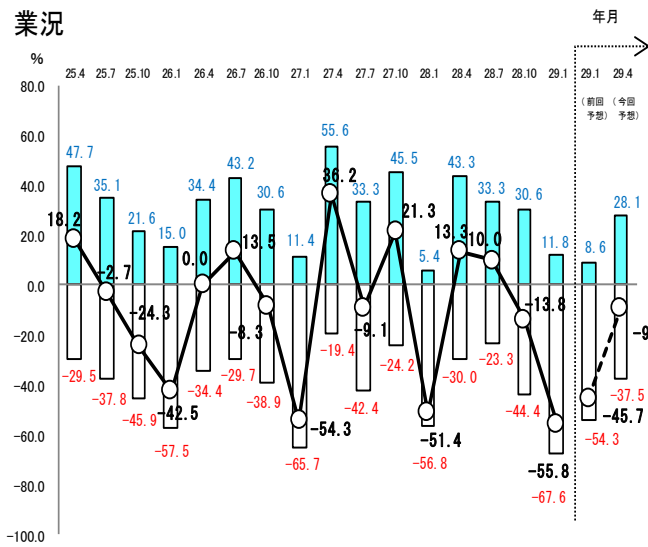


収益率

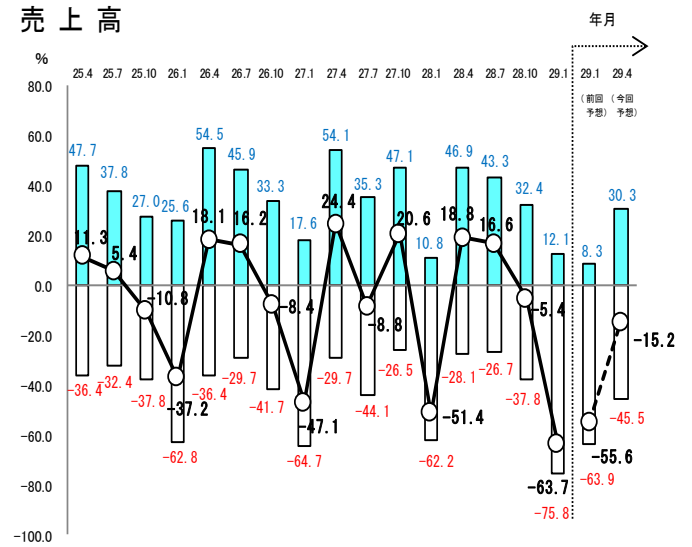


工 飲食業・宿泊業

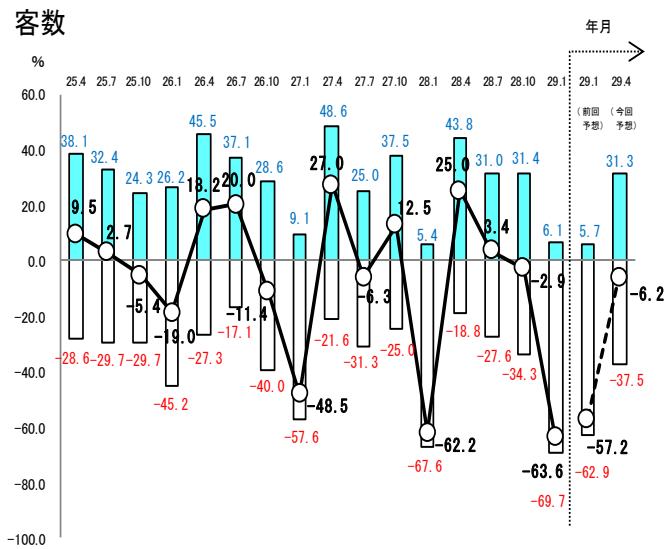
業況



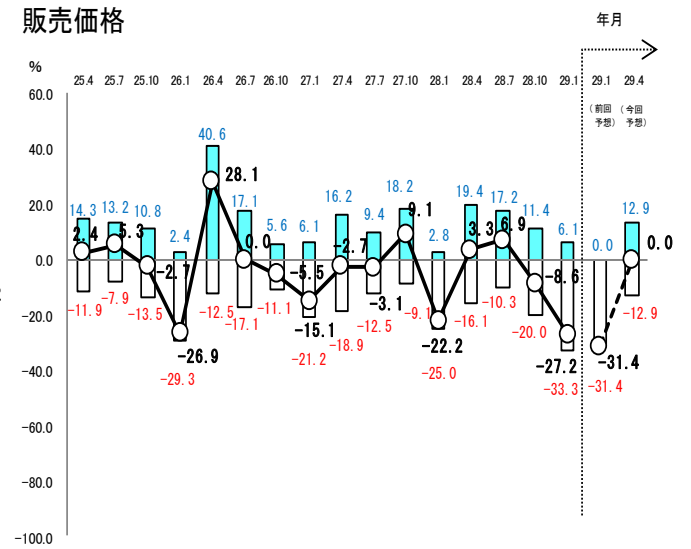
売上高



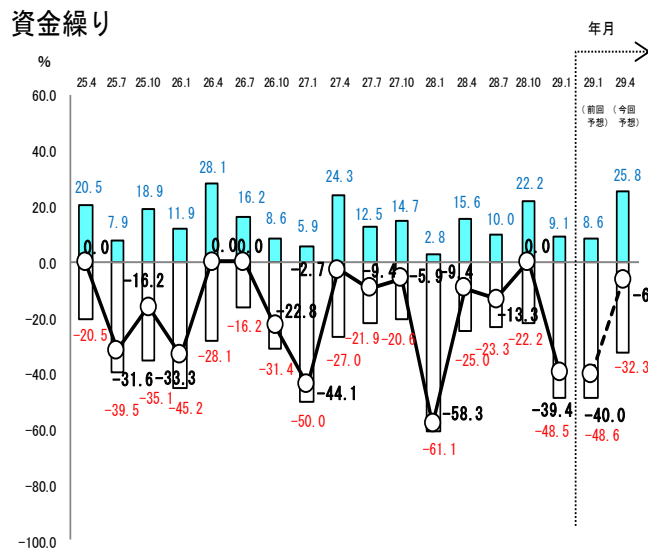
客数



販売価格



資金繰り



収益率

